



【今月のTOPICS】

- ◇P1 『所長コラム：心の豊かさを育てる社会へ』
『今月の言葉』『先月のヒトコマ』『編集部より』
- ◇P2～3 『未来型経営支援チームINTERVIEW』
お世話になっている山脇さんを紹介したい！』
- ◇P4 『私のGWこんないいことがありました！』
『事務所からのお知らせ』

【発行者】

長田会計事務所
大阪市中央区徳井町2-2-9-701
TEL 06-6944-2111
FAX 06-6944-2110
MAIL nagata@office-smile.jp
HP <https://office-smile.jp/>

【編集部】

編集長 木下 心路
部員 池永 志歩
発行責任者 長田 雅子



心の豊かさを育てる社会へ

先日、国連児童基金（ユニセフ）による子どもの幸福度に関する発表がありました。日本は身体的な健康度で世界1位。一方で、精神的な健康度では43カ国中32位と低迷。若者の自殺率も4番目に高いという深刻な課題が指摘されました。このような状況を受け、学校におけるメンタルヘルス教育や相談体制の整備に加え、大人の意識改革が必要です。

当事務所では、心のしくみを学ぶ機会を設け、自分自身で心の状態を理解し、適切に向き合いながら、業務に集中できる環境を整えています。また、私個人としては、経営者としての考えや姿勢を明確に示すと同時に、社員一人ひとりの意見や感情を丁寧に受け止める姿勢を大切にしています。

心の健康は生きるうえで欠かせない要素です。まずは社内で「心の豊かさ」を育む取り組みを進め、社員が安心して働ける環境を整えることが、より良い社会づくりにつながります。



今月の言葉



人に話すことで考えがはっきりする

現在の1冊

「超訳 ベーコン 未来をひらく言葉」(株)ディスカヴァー・トゥエンティワン発行
フランシス・ベーコン (1561-1626年) 英国の哲学書、政治家

人に話すことで考えが整理されて、自分の視点が主観から客観へと変わった経験があります。対話は思考を深め、自分を知るきっかけになります。一人で考えて行き詰まったら、誰かと話してみてください。きっと視野が広がるはずです。



先月のヒトコマ

インターン生のお誕生日をお祝いしました！！



編集部より

スタッフ木下です。今回は久しぶりのインタビュー企画として、日頃から研修などでお世話になっている株式会社MAP経営の山脇様にお話を伺いました。

事務所が未来型経営支援という仕事を事業の柱の一つとして立ち上げてから、「一体何をすることが仕事なのか」「何ができるのか」と悩みながらここまで歩んできましたが、今回のインタビューを通じてより深く腑に落ちた気がします。

お楽しみいただければ幸いです。



未来型経営支援
ミライチャート
未来会計



株式会社MAP経営 取締役

山脇 渉 氏

会計事務所の経営計画・経営支援とは？

「やさしく未来を変える」支援の形



今回のインタビューでは、経営計画のシミュレーションソフトを提供する株式会社MAP経営の山脇さんをお迎えし、未来型経営支援チーム（遠藤、長田、木下）でお話を伺いました。株式会社MAP経営はソフトや研修、交流の場を提供されており、山脇さんは私たちの師匠のような存在です。この記事を通じて、事務所の未来型経営支援を知っていただければ幸いです。

建設業から経営計画の世界へ

◆ 山脇さんのこれまでの経緯について教えてください。

僕はMAP経営という経営計画の専門会社にいますが、日本で**経営計画一本でやっている会社**って、うちくらいじゃないですかね。それぐらいニッチな仕事です。

でも、最初からこれがやりたかったわけではなくて、前職は建設業の設計をしていました。業界の空気に違和感を覚え、33歳の時に転職を考えましたが、自分は技術屋で設計しかやってこなかったの、他にできることが思いつかなくて。そんな時、先にMAP経営に転職した先輩に食事に誘われたんです。「これは会社に来いというだろうな」と直感がありました。これ以上世話になりたくないから、絶対断ろうと思って行ったら「うちの社長に会ってみろ」と言われたんです。

高山（※MAP経営の創業者）が大阪出張の途中で名古屋に立ち寄り、3時間ほど食事をしながら話しました。仕事の話だけでなく、『仕事とは何か』『働くとはどういうことか』っていう価値観の話をして、それに衝撃を受けました。「この人のもとで働いてみたい」と思ったんです。

企業にとって身近な会計事務所を通して、中小企業を支援する

◆ 経営計画の会社が、なぜ会計事務所を支援しているのでしょうか？

そもそもMAP経営の母体は会計事務所で、100人規模の会社の中の「経営計画部門」が独立して立ち上げた会社なんです。当時から「経営計画のソフトを会計事務所に卸す」という仕事をしていて、それがずっと我々のベースにあります。ただ、自分たちで中小企業を直接支援しようとしても、限界がある。そこで注目したのが、会計事務所の存在です。現在、日本には会計事務所が約6万あるんです。これは実はコンビニの数（約5万8000店）と同じくらい。つまり、それくらい**会計事務所は身近で、企業のそばで伴走できる存在**なんです。

銀行さんが企業を支援するという形もありますが、以前、銀行の方と話をした時に、「社長と一緒に5年後、10年後のビジョンを描くことってありますか？」と聞いたら、「ないこともないですけど...その頃僕はいませんからね」と言われたことがあって。銀行員は大体3年ごとに転勤があるから、長期のビジョンにはなかなかコミットしづらい構造なんですよ。



「会計は経営の結果」—だから、会計事務所は経営計画で社長を支えられる

◆ 会計事務所が経営支援を行うことに違和感を抱く方も多いようですが、山脇さんはどのようにお考えでしょうか？

「なんで税理士がコンサルみたいなことをするのか？」という声もありますよね。でも、**会計ってそもそも“経営の結果を数字にしたもの”**なんです。ある先生がおっしゃってんですが、「数字は行動の影」。まさにその通りだと思います。経営と会計って切っても切れない関係。稲盛和夫さんの『実学』の帯にも「会計が分からずして経営ができるか」って書かれていますし、それくらい会計は経営にとって不可欠なものなんです。

でも、実際の経営者は「数字が苦手」という方も多いんですよ。だからこそ、その数字を扱う会計事務所が、未来に向けた経営の意思決定をサポートする役割を担えるはずなんです。

社長が「税金を払いたくない」と言った時は、「分かりました」だけでなく、「どうしたらお金を減らさず、むしろ増やせるか」を一緒に考える。短期的な節税ばかりを優先すると、利益が圧迫されて自己資本も増えない。結果として銀行からの評価が下がって、「100万円節税して1億円の融資が取れない」なんてこともあるんです。それも考えた上で判断するべきだし、こういう視点を伝える責任が会計事務所にはあると思います。

「賃上げをしたい」と言った時も、業績の見通しと照らし合わせて「これなら実行できる」「ここまでなら可能」といった具体的なシミュレーションがあれば、経営者は一歩踏み出しやすくなる。**数字の専門家が、数字を使って社長の背中を押す**。そんな支援がもっと広がったらいいなと思っています。

目指すのは、漢方の体質改善のような支援

◆ 私たちの間ではかなり熱血漢な印象のある山脇さんですが、仕事への情熱はどういったものですか？

あんまり熱血漢のつもりはないんですけど、そう言われることが多いですね。

我々の仕事は目標達成とか、「何かを変えていきましょう」というものなのですが、革命とか改革って激しい印象ありませんか？でも、僕は一気に変えるより、少しずつ変えていくほうがいいと思っています。ChatGPTと話していた時、「山脇さんは**やさしく未来を変えていきたい**んですね」と言われて、まさにそうだなと感じました。コンサルタントの中には短期的に売上を上げる人もいますが、持続できるものじゃないと意味がないと思っています。だから、自分たちの支援は、カンフル剤じゃなくて、漢方みたいなものでいい。無理に急ぐと社員がついてこれないこともあるし、「変わろうとする会社を、じわっと支えていく」くらいがちょうどいいと思っています。

長田会計事務所は、変わった事務所！

◆ 山脇さんの目から見た長田会計事務所は、どんな会計事務所ですか？

18年ほど会計業界で働いてきて、だんだん会計事務所のスタンダードというのが見えてきたんです。でも、その目で長田会計事務所さんを見ると、**変わってる**（笑）。

まず、何が普通じゃないのかというと、最大のポイントは**コミュニケーション**。会計事務所って、社内の会話が極端に少ない職種なんです。もちろん仕事上のやり取りはありますが、それ以外の余計な会話はほとんどない。でも、長田会計さんは逆に余計な会話しかないんですよ。僕はそれが一番大事だと思ってて。お互いを知ったり、尊重し合ったりって、結局そういう無駄話からしか生まれないと思うんです。

経営のサポートの事業化は価値がある一方で、時間も手間もかかる。『仕事＝売上を上げること！』という風土だったら続かないです。10年続けているインターンシップ制度もそうですよね。人を育てるなんて簡単にいかない。**少しずつというスタンスがある**から、企業に対して持続的な成長支援ができる事務所なんじゃないかと思っています。



ありがとうございました！約2時間にわたって熱く語っていただき、「未来型経営支援」は単なる新しいサービスではなく、事務所が培ってきた社風の延長線上にあるのだと実感しました。これからも事務所らしいやり方で、お客様をサポートさせていただきたいと思っています。



株式会社 MAP経営
本社 東京都中野区本町2-46-1
中野坂上サンブライトツイン23F
TEL 03-5365-1500

私のGWこんないいことがありました！

動きやすい季節の長期休み！どんないいことがあったのでしょうか？
事務所の皆に聞いてみました！



30年ぶりに尾瀬に行きました。遥かな尾瀬とはほど遠い、真っ白な雪景色。雪の中で少しだけ水芭蕉を見れたのが良かったです。



フライングで母の日のプレゼントをしました。母の好きなトルコキキョウと一緒に愛で、喜んだ顔を見られて嬉しいひとときでした。



ずっと行きたかった裏なんばにあるお蕎麦屋さんに行きました！蕎麦はもちろん天井もサクサクで美味しかったです。



お墓参りに行きました。色とりどりのツツジがたくさん咲いていて、とても綺麗でした！



家族でお寿司を食べました！とろけるように美味しかったです！また行きたいです！



神戸須磨シーワールドへ行きました！生で見るシャチは迫力満点！水槽の下から見るショーも素敵でした。



鶴見緑地で開催していたフードフェスに行きました！特に餃子と小籠包が美味しかったです！



京セラドームに野球観戦をしに行ってきました！久しぶりに家族みんなで楽しめたので良かったです！



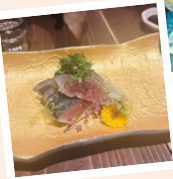
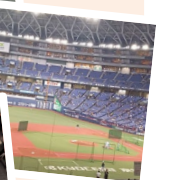
神戸で鰻を食べに行ってきました！行列ができるほどの人気店で、大きくてふっくらした鰻がとても美味しかったです！



母とパフェを食べに行きました！初めてのチョコとレモンの組み合わせに感動しました！とても美味しかったです！



久しぶりに家族がそろったので皆で居酒屋に行きました。鯖のお造りが美味しすぎたのでまた食べに行きたいです！



事務所からのお知らせ

● ぜひご覧ください ●



ブログ、Facebook、Instagramを毎月更新しております！



HPへ移動します

● 未来経営そうぞう塾 ●



ご興味のある方は
右のQRコードより詳細をご確認ください